

ポスタータイトル：三次元膵がんモデルによる低酸素マーカーの発現量の解析

発表者氏名 蔡孟詞¹

共著者氏名 Audrey Bergeron², 江藤哉子¹

発表者および共著者所属 ¹ コーニングインターナショナル株式会社, ²Corning Life Sciences

膵管腺癌（PDAC, Pancreatic Ductal Adenocarcinoma）は、その転移と再発の高リスクから侵襲性の腫瘍としてよく知られています。膵がんは血管系を欠いており、低酸素状態です。低酸素は HIF-1 発現量を高め、HIF-1 は GLUT-1 および CA-IX などの腫瘍の成長、浸潤、および転移を促進する遺伝子を上昇させます。3次元培養 PDAC モデルは、200 μ m を超える直径で酸素とグルコースの拡散勾配を発達させ、低酸素コアを形成することが示されています。今回の研究では、超低接着表面の Corning® スフェロイドマイクロプレートで PDAC 細胞株 PANC-1 を培養して直径が 430~850 μ m のスフェロイドを形成し、各サイズの Spheroid と低酸素マーカーの発現量との相関を解析した結果をご報告します。

発表者 URL : <https://www.corning.com/jp/jp/products/life-sciences.html>

発表者 :

